



まちの話題

第4回W・K・Oジャパンアスリートカップ出場決定



(写真左：空手道場 誠武塾 佐々木師範)

11月25日、田中優瀬（ゆら）さん（吉井中）が第4回W・K・Oジャパンアスリートカップ九州大会を優勝し、全国大会出場への切符を手に入れたことを市長へ報告しました。

全国大会は1月30日（日）エディオンアリーナ大阪で行われます。田中さんは「次は優勝カップを手にと報告に来ます」と熱い想いを語ってくれました。

図書を寄贈いただきました



(写真左から：筑後信用金庫江藤さん、麻生教育長)

11月9日、筑後信用金庫から2万円相当の図書を市内小学校7校（計14万円分）に寄贈いただきました。

筑後信用金庫は地域との関わりを大切にしていきたいとの考えのもと、平成24年から筑後地区の各小中学校に、その年にあった図書を寄贈されています。

千年小学校黒砂糖作り体験学習

11月16日、千年小学校3年生49名が黒砂糖作りの体験学習を行いました。この取り組みは、昭和35年頃まで千年校区で盛んだったさとうきび栽培と黒砂糖作りの伝統文化を伝えようと「千年さとうきびの会」が平成18年から始めたものです。ここで育ったさとうきびは糖度が20度近くあり、近隣の洋菓子店からの引き合いも多いとのこと。子ども達は初めて食べるさとうきびの甘さと、昔ながらの黒砂糖作りの大変さを学びました。



うきは・田主丸地区国際化対策連絡協議会

11月18日、るり色ふるさと館において、「うきは・田主丸地区国際化対策連絡協議会」が開催されました。本協議会は、自治体、事業者及び警察が連携して、①来日外国人の安全を守ること②地域社会として来日外国人との良好な関係を保持すること③不法滞在・不法就労等の犯罪を未然に防止していくことなどを目的とした情報共有の場として、毎年1回開催されています。会の冒頭、顧問であるうきは警察署の中原伸宏署長は、「『企業・事業者の発展や地域社会の活性化』と『地域住民の皆様にも喜ばれる安全安心なまちづくり』はどちらかに片寄ることなく同時、並行で進めていく必要がある。」と述べ、その後、警察からの状況説明及び会員間での自由闊達な意見交換がなされるなど、有意義な会合となりました。





**うきは市癒しの旅先案内人協会
令和3年度福岡県観光功労者表彰**



11月8日、令和3年度福岡県観光功労者表彰が福岡県庁で行われ、その報告に市長を表敬訪問しました。

うきは市癒しの旅先案内人協会は、平成21年3月より10年以上にわたり森林セラピーを通じてうきは市の自然環境や観光資源を多くの方に知っていただくため、訪問者が森林セラピーロードを心地よく歩けるよう草刈りやベンチ設置等の整備を自主的に行っている活動が認められ、今回受賞しました。

令和3年度福岡県社会教育委員連絡協議会表彰



(写真左から：井浦ラン子さん、鳥越良雄さん)

11月18日、福岡県社会教育委員連絡協議会表彰が行われ、井浦ラン子さん、鳥越良雄さんが表彰されました。

この表彰は、多年社会教育の振興に貢献し、その功績が特に顕著と認められる県並びに市町村の社会教育委員を表彰し、もって社会教育の発展に資することを目的とするものです。お二人は社会教育委員として10年以上在任していただき、うきは市の社会教育の振興に多年に渡りご貢献いただきました。

今年もハゼ並木のライトアップが行われました



今年もうきは市吉井町延寿寺曾根で、ハゼ並木ライトアップと竹灯籠が12月5日まで行われました。並木は江戸時代以降、ハゼの実から木蠟（もくろう）を作るため延寿寺川沿いに植えられたもので、約800メートルに計約130本が残っています。このライトアップは地域おこし団体「あ！つまらん会」が、地域の歴史に触れてもらおうと始めたもので、今年で14回目です。

サガン鳥栖コーチによるサッカー教室開催！



11月23日、明治安田生命久留米支社主催のサッカー教室が船越グラウンドで開催されました。明治安田生命は「社会貢献活動」に取り組んでおり、今回もその一環として、地域の方々を対象とした子ども向けサッカー教室を開催しました。講師にはJ1クラブチーム、サガン鳥栖のコーチが直接指導するということもあり、参加した80名の小学生はコーチの話に熱心に耳を傾け、実りのあるサッカー教室となりました。